

平成16年11月15日
中国電力株式会社

日本温暖化ガス削減基金への参加について

当社はこのたび、地球温暖化防止に向けた取り組みの一環として、日本温暖化ガス削減基金(Japan Greenhouse Gas Reduction Fund: JGRF)に、300万米ドル(日本円換算:約3.3億円)出資することとしました。これにより、約50万トンのCO₂クレジットが獲得できる見込みです。

この基金は、国際協力銀行、日本政策投資銀行と日本企業が共同で設立する炭素基金で、出資金を開発途上国における温室効果ガス排出削減プロジェクトに投資し、プロジェクトから生じるCO₂排出削減量(クレジット)を出資者に還元するものです。出資者は、本基金へ出資することにより、排出削減プロジェクトへの支援を通じて、地球規模での温暖化防止に貢献することができます。

電力業界においては、本基金への参加をCO₂削減目標の達成に向けた「電力一体となった取り組み」と位置付けており、当社の目標達成にも寄与することから、本基金へ参加することとしました。

当社は、従来から、環境問題への取り組みを経営の最重要課題の一つと位置付け、地球温暖化問題については、島根・上関両原子力発電所の建設推進、火力発電所の熱効率向上やLNGの利用拡大など、様々な対策に積極的に取り組んできました。

また、国際的な取り組みとして、世界銀行の炭素基金や豪州における植林プロジェクトに参加しているほか、本年5月には、温室効果ガス排出権共同購入プール(GG-GAP)への参加も決定しました。

今後も、企業の社会的責任遂行の観点から、温暖化防止に向けた積極的な取り組みを展開してまいります。

<添付資料>

○別紙・・・ [日本温暖化ガス削減基金の概要](#)

以上

日本温暖化ガス削減基金の概要

【日本温暖化ガス削減基金の概要】

○期間	2004年12月(予定)～2014年12月(約10年間)
○規模	1億米ドル
○当社の出資総額	300万米ドル(約3.3億円)
○当社のクレジット獲得量	約50万t-CO ₂ (見込み)
○投資対象プロジェクト	開発途上国における温室効果ガス削減プロジェクト
○主な特長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数プロジェクトからの購入によりリスクを低減できる。 ・ 日本独自の基金で、日本の制度・ニーズに合った運営が期待できる。

【運営形態】

大口出資者により設立される購入会社が、開発途上国における温室効果ガス削減プロジェクトの中から優良案件を選定し、プロジェクト実施者からCO₂クレジットを購入。購入会社は、獲得したクレジットを投資組合に転売する。

